

研修報告書

日 時 2021年2月20日(土) 13:30 ~ 15:30

参加人数 会員 41人 非会員 3人

講 座 新しい家族関係の構築を考える
「特別養子縁組制度の広がりに向けて」

講 師 赤尾さく美 氏
一般社団法人ベアホープ 理事
一般社団法人全国妊娠 SOS ネットワーク 理事

担当者感想

講義は、複数の問題が複雑にからみ合う“思いがけない妊娠”をした女性たちからはじまり産んでも育てられない女性へ・誰にも言えない妊娠・実親と暮らせない子どもたち等の話からにんしん SOS の全国展開への話があった。

改正児童福祉法(2016年6月3日公布)では特に就学前の乳幼児期は愛着関係の基礎を作る時期であり、児童が安心できる、温かく安定した家庭で養育されることが重要であることから養子縁組や里親・ファミリーホームへの委託を推進することになった。

どんな子供でも家庭が必要であるそして社会で育てる必要がある。という言葉は心に残った。また、実際の対応として助産師が心得ておくことの一つに、妊娠・出産にかかわる私たちは、育てられない親がどうしたいかを丁寧に聞くことが重要である。

例えば母親が母乳を与えることを望まない場合などは、押し付けにならないように心得ておく必要がある。

受講者からは産みの親と育ての親は違ってもいいんだと伝えることで新しい道が開けたや特別養子縁組は産みの親子・子どもの支援、親支援の3立てだと思ふなどの感想があった。

参加者感想

子育て世代包括支援センター助産師で専任業務を担当しています。若年妊婦の子どもの児童養護施設への入所やメンタルを抱えた妊産婦の里親委託や特別養子縁組に福祉と児相と一緒に関わった経験が今年度ありました。ガイドブックも購入してとても参考にさせていただいています。今回のオンライン学習でさらに学びが深まりました。本日は大変有意義な学びとなりました。どうもありがとうございました。

産んでくれる人と育ててくれる人は違ってもいいんだよ、と伝えることで新しい道が開ける人もいると思いました。印象的な言葉でした。

